

向なども踏まえ、より効果的な方法での早期の実施を検討したい。

最後に市内で予防ワクチンが接種出来るのは、6月2日現在5箇所の医療機関で実施するとの回答を得た。

再質問 次の世代が安心して健康で暮らせる社会を作ることには我々の責務である。長谷川市長からも前進的な

回答が欲しい。

再答弁（市長） 私自身もワクチン接種を体験し、負担の大きさを知った。女性の一人として来年の予算編成にあたっては公費負担の財源を確保していきたい。

＜その他の質問事項＞
○職員の研修制度について。
○簡易水道の運営及び指導について。

公共施設の快適な利用を目指して

吉原光夫議員

○職員の配置中止について

質問 総合体育館や地域交流センター、生涯学習センター等の職員については、機構改革の中で教育委員会が石下地区に移行したため、内部を統合する中で各施設の現場はシルバー人材センターに管理を委託すると聞いている。5月上旬、石下総合体育館を利用した際、利用者の要望に対して適切な処理が出来ない部分が多々あった。わからないことがあったとしても、午後5時以降ではスポーツ振興課の職員は帰宅していて対応することが出来ない。これで、本当に利用者に対

しての十分な対応が出来て

いるのか。聞くところによると利用者からの電話に対応できないとか、申請に対して減免か有料か判断出来ないなどの話もあり、また大きな大会や土日・祝日は管理人だけではどうにもならないとのことである。1人か2人は責任を持った職員をおいて、十分な対応が出来るようにすべきではないか。

答弁（教育部長） 教育委員会について、各種施策の円滑な実施を図るため、石下総合福祉センターに事務局を統合。各施設の通常の管理運営については、行政改革

の観点から市民サービスの低下を招かぬよう配慮しながら、外部委託を進める。

4月まで生涯学習課関連の事務所は、生涯学習センター、水海道公民館、地域交流センターの3施設があり、スポーツ振興課関連の事務所は、水海道総合体育館及び石下総合体育館の2施設に分かれていた。現在

これら各施設の管理は、シルバー人材センター等と委託契約している。しかし、各施設の管理を委託してから2か月、ご指摘のとおり施設の不具合、利用者からの問い合わせ等に迅速な対応が難しいことなどの課題もあり、使用予定に合わせ、

随時職員を派遣しながら機械器具等の操作をサポート



石下総合体育館

している。それにより各施設の対応にも改善が見られている。今後は、各施設の従事者との連絡を密にし、それぞれの担当課職員が指

導とバックアップ体制をさらに強化。安心して利用できるようにしたい。
＜その他の質問事項＞
○口蹄疫について。

駐在所の存続と高齢者免許返還に特典を望む

石川栄子議員

○警察関係について

質問 駐在所の再編計画について、私の地域を考えると五箇のほぼ中心部に安心・安全の守り手である駐在所があつたからこそ、この地域では特別困つた事件は起きなかつたのではないかと

思う。何とかこのまま駐在所を置いてもらう方向で考えてもらえないか。そこで、駐在所の再編計画の進捗状況、例えばいつまでに、どの駐在所が無くなる方向なのか具体的に聞きたい。

次に高齢者の交通事故増加に伴い、県内自治体でも65歳以上の運転免許自主返納を特典をつけて推進している。つくば市は一昨年1月からコミュニティバス回数券を最大1万1千円分交付。守谷市も同年1月からコミュニティバスや路線バスの回数券を1万円分、笠

間市は今年4月からデマンドタクシーか市内タクシーの回数券を1万2千円交付すると報じられている。高齢者の事故防止のため、ぜひ、当市でも何か特典をつけて、免許証返納を推進していく考えはあるか。

答弁（民生生活部長） 平成22年度中の常総警察署管内での統合予定は、常総市内では、三妻駐在所へ上蛇駐在所を統合。豊岡駐在所へ大輪、大生郷駐在所を統合。内守谷駐在所へ坂手、菅生駐在所を統合すること。これは、距離的に2.4kmと近接していること。犯罪は夜間が多く、駐在所では対応できず、交番の人数を増やして地区交番の夜間勤務体制の充実強化という理由による。これらの再編事業の結果、年度末には市内で5箇